

令和6年度 第2回住吉区総合教育会議 議事要旨

◆日 時：令和6年12月19日（木）14:00～15:30

◆場 所：住吉区役所 1階 第1会議室

◆出席者：

（委員）

浅田 裕見子 氏

伊井 義人 氏（議長）

桶土井 晴英 氏

尾畑 美智子 氏

行天 邦善 氏

島谷 裕美子 氏

高柳 めぐみ 氏

長吉 紀郎 氏

松本 洋子 氏

（オブザーバー）

苅田北小学校長 中西 泰代 氏

住吉中学校長 西堂 良紀 氏

墨江幼稚園長 畠山 美華 氏

（区役所）

住吉区担当教育次長（区長）橘 隆義

住吉区教育担当部長（副区長）樋口 幸生

住吉区教育担当課長（教育文化課長）柏木 眞里子

住吉区保健福祉課長 小西 宏樹

住吉区保健子育て担当課長 福田 利明

住吉区生活支援課長 稲岡 訓規

住吉区地域課長代理 隅田 嘉昭

住吉区教育担当課長代理（教育文化課長代理）佐藤 忠義

◆議題

- (1) 令和6年度 住吉区における主な教育・子育て関連事業（令和6年度実施状況・令和7年度の方向性）について

【スクールソーシャルワーカー（SSW）配置】

令和7年度の方向性について、住吉区独自で雇用しているSSWを廃止し、教育委員会事務局から各区に配置している、こどもサポートネット事業によるSSWで支援を行っていく。SSWの配置に代わる事業は、「不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業」として、教室に入ることができない生徒や不登校傾向にある生徒の支援を目的として、学校内の空教室等を活用し、心理的負担なく学習できる場の整備を行う予定としており、教育委員会事務局へ予算要求している旨説明。

【「すみよし学習クラブ」及び「すみよし学習クラブジュニア」自主学習習慣づくり支援事業】

令和7年度の方向性について、小学生対象の「すみよし学習クラブジュニア」は、遠里小野小学校が追加となる。また小学生、中学生とも非通塾型オンライン学習を実施予定としている旨説明

【「学校園補助スタッフの活動支援」】学校園教育活動支援事業】

第1回会議で委員からの意見を受け、予算の拡充と兼務に向けて要綱を整備・検討している旨説明。

【子ども・若者育成支援事業】

今年度、新規の相談が例年に比べ増えているのは、広く区民の皆様に制度を周知させていただいた結果であると考えている旨説明。

子ども・若者育成支援事業の取組みとして、2月20日に講座「中学生サードプレイスとは何か～『校内居場所』の力～」を開催する予定であると紹介。

【こどもサポートネット事業】

こどもサポートネットの支援を開始するには、まず学校を通じて保護者の了承を

得る必要がある。

こどもサポートネットとしての対応困難ケースであった事案については、4月からスタートしたこども家庭センターで、合同ケース会議といった、庁内の調整機能を持った会議を進めている。

さらに、保健福祉課が調整役となり開催している「つながる場」という法定会議を活用するなどして、適切な協議の場につないでいきたい旨説明。

(委員からの主な質問、意見)

- ・「不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業」については、良い取り組みだと思う。

- ・校内における居場所づくりについては、現在学校独自で取り組んでいるところだが、利用する生徒の見守りを行う人員が必要となる。

現状は空き時間のある先生や、スクールサポートスタッフが入る形で運営するため、この役割を持ったサポーターがいたら学校も運営しやすいのではないかと。

→ 学校園補助スタッフの予算拡充と兼務に向けて要綱を整備、検討しているため、活用をお願いしたい。

- ・11月26日に開催したフォーラム「子どものトラウマインフォームドケア」の参加者アンケートはとっているか。

→ アンケートを取っており、大変高い評価をいただいている。

- ・4月に開校した心和中学校について、住吉区から通っている生徒がいるのかなど、状況を知りたい。

→ 現在住吉区からは1名通学している。

大阪市全域で募集するため、受入れ人数より希望者が多い状況となっている。

- ・すみよし学習クラブについて、実施していない中学校からの参加者も多く、広報等の工夫をしていると感じる。

→ すみよし学習クラブは、区内在住の中学生を対象としている。一方、小学生5・6年生対象のすみよし学習クラブジュニアは、実施している小学校の児童のみを対象としているが、来年度より非通塾型オンラインの場合は区内の小学5・6年生全員を対象とする予定であり、今後実施校の通学区域外に居住する児童の受講機会も広げていきたい。